

久留米大学法学部同窓会会報

KURUME UNIVERSITY

Law Alumni Association

2021

特集：コロナ禍と法学部同窓会活動の1年
自然災害の脅威と闘う～熊本、そして筑後

CONTENTS

目次	1
ご挨拶	
会長	1
新学部長／前学部長	2
同窓会活動	
コロナ禍における同窓会活動のあり方	3
定期総会	4
活動報告／決算・予算／支部だより(福岡支部)	5
学部支援	
絆フェスタ2020	6
職業と社会	7~8
法学部教員紹介	
古賀先生／松田先生／周先生／土肥先生	9
特集	
コロナ禍の今／卒業生の抱負	10
自然災害の脅威と闘う～熊本、そして筑後	11~12
大学通信	
コロナ禍における就職支援	13
新時代を拓く久留米大学募金	14
大学近況	
法学部、大学における最近の話題	15~16
法律時事情報	
コロナ禍における補助金等について	17
同窓会通信	
事務局より／マスク寄贈お礼	18

■ 表紙写真



豊かな筑紫野われらが修学のふるさと一。久留米大学校歌にも謳われた筑後平野を見下ろす御井本館から撮影した遠景。久留米、鳥栖三養基のほか、朝倉、筑紫野まで一望できる。久留米大学のポテンシャルを感じるとともに同窓生にとっても自慢の眺めといえよう。

■ 裏表紙写真



表紙とは反対の南方向を撮影した(許可を得て撮影)。遠く長崎：雲仙普賢岳が遠望できる。久留米は九州の中心に位置することを感じる1コマである。つまり、佐賀、長崎、熊本、カト外ではあるが大分など、幅広い地域からの「ひと、もの」の集積と連携が可能なのである。

御井学舎「御井本館」からの360度パノラマ風景映像を法学部同窓会ホームページで公開中。詳しくはQRコードをチェック!



久留米大学法学部同窓会
会 長
折戸 謙介

会報発行によせて

昨年度の会報のこの場において、私は会長退任の挨拶を致しました。しかしながらまだ私は会長職にいます。

皆さんご存知のとおり令和2年はコロナ禍で、世間一般も各種イベントが中止または延期となり、当同窓会も例外ではなく、まともな活動は全く出来ませんでした。当同窓会は、毎年5月後半から6月前半に定期総会を開催するのが慣例となっているのですが、その時期はまさに緊急事態宣言の真っ只中もしくは宣言解除直後であり、世間が混乱している最中でした。とはいえ定期総会を開催しないわけには行かず、苦肉の策として、書面決議での開催となりました。

会長及び執行部の交代を書面決議の総会でも行うことは出来たのかもしれませんが、大幅な執行部の交代を考えていた私たちは、会議もまともに行うことが出来ない中では、新人事案について結論を出すことが出来ませんでした。そこで会長の私を含めた、執行部の大半はそのまま留任することにしました。

この原稿を書いている今は令和2年のクリスマスなのですが、コロナの第3波が猛威を奮い、再び行き先の見えない状況に世間がなりつつあります。昨夜のイヴの夜に私の住んでいる街の商店街は閑散としていました。いつもは賑

わう街が嘘のように静まり返っていました。この会報が皆様の手元に届くのは、令和3年の5月頃になりますので、今とはまた状況も変わっているでしょう。

一昨年の今頃は誰もこのような状況になることは予想していなかったでしょう。私は自分も予想しないような状況で会長に就任しました。もう15年近く前の話です。そして今回、全く予想していなかった状況で会長に残留し、延長戦へと突入することになりました。

今のところ令和3年の定期総会は、秋口に開催し、懇親会も開催する予定にしています。その頃には、今からは予想出来ないくらいに、世間が、経済が、近所の商店街が活気を取り戻していますように、切に願います。





教授
吉弘 光男

新学部長ご挨拶

法学部卒業生のみなさま、こんにちは。本年度より前任の神原和宏前法学部長の後任として、学部長の職を引き継ぐことになりました吉弘です。神原先生は、法学部の創成期から教員として学生指導や学内行政に尽力されてきており、法学部のすべてのことをご存知でした。一方、私は新参者であり、何も知らないという現状です。しかし、法学部の先生方、学生諸君、そして卒業生のみなさまのお力をお借りして、何とか職責を全うしたいと思っております。何卒よろしくお願ひします。

まず、御井キャンパスにおいて、予てから懸案であった女子寮「千歳」が完成したというニュースをお伝えしたいと思います。女子学生を後押しする環境が一つ整いました。

さて、令和2年は、卒業生のみなさまも大変な思いをしながら日々を送られてきたと存じますが、大学もコロナの対応に追われた1年でした。コロナ禍の影響により、令和元年度の卒業式、令和2年度の入学式といった大学の行事が軒並み中止となってしまいました。毎年4月に実施される新入生オリエンテーション合宿や12月の法学部パーティーといった法学部の目玉とも言える行事も取りやめになってしまいました。本来ならば1月に行われる予定であった河内千栄子先生、宗岡嗣郎先生の最終講義も中止の状態です。授業も同様でし

た。令和2年度の前期は、対面授業が全面的に停止され、本学のe-learningシステムを利用したオンデマンド型のWeb授業でした。後期では、演習や主要科目を中心に何とか対面での授業を実施できましたが、年明けの1月からはこれらもWeb授業に切り替わりました。在学生諸君には本当に不自由な思いをさせた1年でした。法学部では、演習を中心とした少人数教育、学生と教員との距離が近い関係での教育を一つの柱にしてきました。それが充分に実現できなかったことは本当に残念でした。そのような中でも、前田俊文先生が企画されている「緋フェスタ」が、感染対策に万全を期して、8月にオンライン配信という形で実施されたというのは明るい話題の一つです。法学部が地域のための情報発信を行い、地域貢献活動を行っているということを示すことができたからです。

ただ、「明けない夜はない」とも「止まない雨はない」とも言われます。いずれ今までのようなキャンパスが戻ってくると思います。それまでこの不自由な環境の中でも、私たち法学部の教職員はできる限りのことをやっていこうと思っております。

今後とも、卒業生のみなさま方には何かとご支援をお願いするとは存じますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



教授
神原 和宏

前学部長ご挨拶

同窓生の皆様、お元気でしょうか。コロナ禍で大変なご苦労をされておられるのではないかと、ご案じ申し上げます。

私は今年3月に法学部長を退任いたしました。4年間の在職中は、同窓会、同窓生の皆様方に多大なご支援を賜り、深く感謝いたします。

昨年度は、私自身も30数年の大学生活の中で初めて経験する大変困難な1年でした。入学式やその他多くのイベントが中止され、前期の授業はすべてオンラインとなり、サークル活動も行えず、新入生は前期の終盤までは入学した大学に来れないという状況でした。後期からは多くの授業が対面になり、キャンパスも少し活気を取り戻しましたが、1月の緊急事態宣言で、また学生の登校が制限され、授業や定期試験もオンラインということになりました。

この様に昨年度は新型コロナウイルスに振り回された1年でした。まだ終息という状況ではありませんので、新学部長の吉弘先生には大変ご苦労も多いのではないかと懸念いたします。一日も早くこの事態が終息し、今までの大学生活に戻り、大学や学部の様々な行事ができるようになることを願っています。

法学部長職は退任いたしました。これからも教員として大学や法学部の発展に尽くしたいと考えています。また、今までの日常を取り戻したら、同窓生の皆様方もまた交流の機会が多くできれば幸いです。

今後とも法学部に対する温かいご支援をよろしくお願ひします。

令和元年11月に中国 武漢市にて発生したとされる謎の新型肺炎は、令和2年に入り、世界中に伝播した。その原因もCovid-19という新型コロナウイルスによる感染症と判明し、令和2年末になりようやくウイルスワクチンが開発されたものの、日頃からのマスクの着用、手洗いの奨励などの予防策に徹し、重症化しないように心がけるほかない、というのが現状である。

この「コロナ禍」と呼ばれるパンデミックにおいて、我々の生活様式も大きく変化した。ソーシャルディスタンスの励行、マスクの着用、手の消毒の実施などのほか、令和2年は東京五輪の延期、イベントの自粛、様々な行事の延期等が行われた。この1年で時間や人の移動に対する考え方も変わり、オンライン会議が跋扈する時代となった。久留米大学法学部同窓会もご多分に漏れず、同窓会活動の一部自粛に踏み切らざるを得ない状況が続いている。同窓会とは、本来母校の支援のほか、卒業した母校の同窓生が集い、思い出を語り合う場でもあり、卒業生同士の結びつきを強め、支援していく、というのがその姿であろうが、令和2年は、従前の活動の提供が困難になり、どのようにすれば卒業生に活動する姿を理解してもらおうか、ということに腐心した。

これまでの活動では、年に1回発行している会報誌のほか、同窓会総会・懇親会において、その活動を理解してもらい、同窓生同士の語り合いの場を提供できたが、後者に関しては、従前のような実施が困難になった。そこで、執行部は所定の議決権行使書による提案事項の承認を求め、という、これまでにない方法を選択した。大学においても、令和元年度卒業式や令和2年度入学式は実施されず、特に令和元年度に卒業された同窓生（法律学科第30回、国際政治学科第23回）諸氏には、大変悔しい思いをしたことと察する。

令和3年度、今後の同窓会活動がどのようになるのか、不透明なところが大きいですが、令和2年度の活動を踏まえ、執行部活動はWebを利用したオンライン会議等が主体になると考えられる。また、各部会についても、オンライン会議のほか、事前に資料を共有

し、Web上で意見を交換し合う会議が主体となるのではないだろうか。会報誌の発行は継続するにしても、リアルタイムに情報発信可能なフェイスブックによる広報活動に重点を置くことになるだろう。しかし、なんとと言っても、同窓生が楽しみにしているのは、年に1回の同窓会総会・懇親会の開催についてであろう。令和2年度は残念ながら懇親会は中止の判断をとらざるを得なかったが、できる限り早い機会に総会・懇親会が開催できることを願うのみである。出来るならば、その総会・懇親会において、令和元年度の卒業生には多数参加をしていただき、あのときの悔しい思いを晴らしていただければ、と考えている。

ただし、こうした実施判断を行うのも、大規模集会などの開催可否などの国の基準や指針に沿って行わざるを得ない、というのが現状である。令和2年12月の法学部同窓会理事会において、「令和3年度の法学部同窓会総会・懇親会は令和3年9月～11月の間に開催する方針」を決定したが、この会報が届く頃、また夏を過ぎた頃の状況でどうなるか、判然としない状況である。同窓生諸氏もご理解いただいているかとは思いますが、「今は我慢のとき」と考えて、コロナ禍の克服を優先し、そのような中でも出来る同窓会活動を展開したいと考えている。

もし、同窓生諸氏のなかで、こうした活動ができないか、というアイデアをお持ちの方がおられれば、ぜひ法学部同窓会事務局にご一報をお願いしたい。



法学部同窓会事務局が入居する 御井学舎内千歳会館

林田 俊彦(平成4年卒)

令和2年度定期総会のご報告

令和2年度の定期総会は、コロナ禍であることを考慮して、対面での開催及び懇親会の開催は断念し、書面決議により行いました。

令和2年5月に発送した会報に書面決議を行う旨と、概ねの時期を告知し、同6月下旬に公示日を同13日にし、締切である同30日を総会があった日とする旨を、本会ホームページ上にアップしました。

同13日の公示日においてホームページ上にアップされた資料には、通常の総会資料のほか、議案についての補足説明書、そして議決権を行使するための議決権行使書の書式を一緒に添付しました。

議決権行使書は各自でプリントアウトの上でファックスにて同窓会事務局まで送信するのを基本としていましたが、プリントアウト等が出来ない会員のために所定用紙を用意し、希望者には郵送での権利行使が出来るように準備もしていました。

上程された議案は、下記のとおり第1号議案から6号議案までありましたが、全て可決承認されています。

なお、5号議案における役員改選では、会長をはじめとした執行部の大幅な入れ替わりを検討していたのですが、こうした状況下であること等、様々な事情を考慮して、大半の執行部員は留任という形をとっています。

本会の会則では、書面決議などの規程がないため、こうした方法での開催は令和2年度のみの特例だと考えています。

令和3年度は、昨年最もコロナが治まっていた季節である秋に開催することを予定し、懇親会も開催すべく準備を進めていますが、状況等を考慮して、適宜判断した上で開催の時期や方法を随時決定していきたいと思いますので、何卒、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

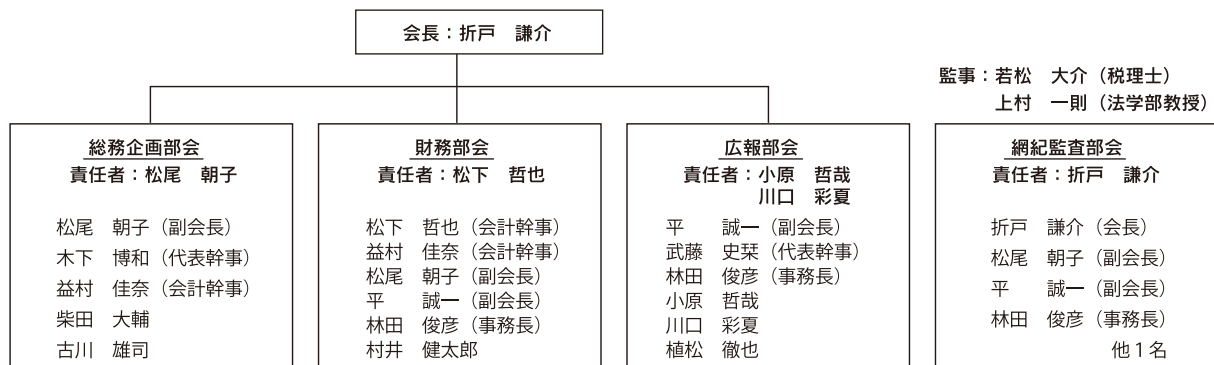
公 示 日	令和2年6月13日土曜日
総会があったとされる日	令和2年6月30日火曜日
議 決 方 法	議決権行使書による書面決議

【議 案】

- 第1号議案 平成31年度(令和元年度)事業報告について
- 第2号議案 平成31年度(令和元年度)決算報告並びに監査報告について
- 第3号議案 令和2年度事業計画について
- 第4号議案 令和2年度予算について
- 第5号議案 役員改選について
- 第6号議案 久留米大学文系同窓会奨学金規程の改正について



【令和2年度 法学部同窓会組織図】



令和2年度は、web会議を取り入れソーシャルディスタンスを守りました。

平成31(令和元)年度活動報告

■平成31年

- 4月 4日 入学式
- 17日 会計監査 4月理事会
- 20日 商経同窓会総会・懇親会
- 29日 総務部会(景品購入)

■令和元年

- 5月 1日 総務部会(景品購入)
- 21日 (商経)福岡支部役員会議
- 22日 5月理事会
- 23日 広報PR ドリームスFM出演
- 6月 8日 法学部同窓会総会・懇親会
- 21日 (商経)福岡支部幹事会
- 7月 6日 7月理事会【中止】
- 20日 (商経)福岡支部「夏の集い」
- 22日 連合同窓会運営委員会
- 8月 24日 法学部イベント 緋フェスタ
- 31日 8月理事会・総会反省会
- 10月 1日 広報部会
- 16日 10月理事会
- 23日 千歳会
- 11月 20日 広報部会
- 22日 11月理事会
- 28日 学内支部会
- 12月 7日 国際交流懇親会
- 11日 法学部パーティー
- 20日 広報部会

■令和2年

- 1月 7日 広報取材(打合せ)
- 20日 広報部会(業者との打合せ)
- 21日 広報取材(会社探訪)
- 24日 1月理事会
- 30日 (商経)福岡支部会・新年会
- 2月 4日 広報取材(卒業生インタビュー)
- 5日 広報部会
- 14日 広報取材(サークル訪問)
- 19日 (商経)福岡支部長選考委員会
- 21日 「職業と社会」感謝のつどい
- 3月 4日 広報取材(卒業生インタビュー)
- 5日 広報部会
- 8日 役員選考会
- 11日 (商経)福岡支部役員選考に関する打合せ
- 12日 3月理事会
- 17日 (商経)福岡支部役員選考に関する打合せ
- 21日 (商経)佐賀県支部総会・懇親会【中止】
- 23日 卒業式・祝賀会【中止】

* 9月27日～1月17日 計15回
「職業と社会」への支援

平成31(令和元)年度決算・令和2年度予算

(単位:円)

収 入		R2年度予算	H31(R1)年度決算
款	項		
会 費 収 入		10,170,000	9,720,000
	入 会 金	10,170,000	9,720,000
	会 費	0	0
利 息 収 入		200	131
	預 金 利 息	200	131
雑 収 入		0	5,000
	雑 収 入	0	5,000
未 払 金		0	0
	未 払 金	0	0
小 計		10,170,200	9,725,131
事業積立金取崩		0	0
前年度繰越金		4,361,562	2,524,837
合 計		14,531,762	12,249,968

支 出		R2年度予算	H31(R1)年度決算
款	項		
事 業 費		6,610,000	3,554,337
	旅 費・交 通 費	800,000	450,500
	会 議 費	80,000	46,787
	総 務 費	1,500,000	620,248
	渉 外 費	150,000	18,278
	印 刷 費	30,000	4,060
	会 報 費	2,400,000	1,499,128
	広 報 費	400,000	122,400
	支 部 対 策 費	200,000	58,800
	あ の く 祭 援 助 費	200,000	212,500
	補 助 費	500,000	396,426
	事 業 対 策 費	250,000	104,210
	奨 学 費	100,000	21,000
記 念 事 業 費		—	0
	記 念 事 業 費	—	0
事 務 費		4,465,000	3,334,069
	人 件 費	3,550,000	3,081,733
	福 利 厚 生 費	50,000	32,819
	事 務 局 維 持 費	200,000	49,086
	通 信 運 搬 費	200,000	119,115
	消 耗 品 費	50,000	12,214
	雑 費	200,000	22,786
	備 品 費	200,000	11,000
	被 服 費	0	0
	支 払 手 数 料	15,000	5,316
積 立 金 支 出		3,000,000	1,000,000
	基 本 金 支 出	0	0
	事 業 積 立 金 支 出	3,000,000	1,000,000
予 備 費		456,762	0
小 計		14,531,762	7,888,406
次年度繰越金		0	4,361,562
合 計		14,531,762	12,249,968



去る11月25日(水)19時から福岡サテライトにおいて、久留米大学同窓会福岡支部の定期総会が開催されました。福岡支部は法学部だけでなく、全学部の卒業生が一体となって活動している支部です。福岡支部では2年に一回の定期総会を開催しているのですが、令和2年は開催の年に当たりません。コロナ禍の中ではありますが、役員交代や規則の改正もあったため、開催を決定することにしました。とはいえ、従来行っている懇親会は開催せず、議案審議だけの開催です。

議案は全て可決承認され、長年支部長を務められていた商学部卒業生の平川猛展会員から毛利藤伸会員が、新支部長として就任されました。

執行部全体が若返り、今後の益々の発展と活動に期待が寄せられます。

折戸 謙介(平成7年卒)

支部だより

久留米大学同窓会 福岡支部定期総会の「報告」



絣フェスタ 2020

令和2年8月21日(金)に、久留米シティプラザ・グランドホールにおいて「絣フェスタ2020」を無事に開催することができたことを実行委員長としてとてもうれしく思っています。今回の絣フェスタは新型コロナウイルスの感染防止のため、医学部看護学科の協力のもと無観客でのオンライン配信による開催となりました。初めてのオンライン配信ということで戸惑いがありましたが、ご覧いただいた皆様本当にありがとうございました。

「絣フェスタ」とは、今回で6回目を迎える久留米大学法学部主催で行っている地域連携行事です。平成27年に久留米大学内の教室で七夕デーとして開催され、平成28年からは場所を久留米シティプラザの六角堂広場に移して開催されてきました。しかし令和2年はグランドホールでの開催となりました。今回のテーマは「Luce(希望)」であり、新型コロナウイルスで不安になっている人たちに希望を与えるというテーマで開催しました。

「絣フェスタ2020」では実行委員長として関わらせていただきました。新型コロナウイルスの感染拡大により本当に開催できるのか不安でした。しかし実行委員会で協議を重ねていく中で、どうしても開催したいという気持ちが強くなっていきました。絣フェスタの目的は、若者が中心となって久留米を盛り上げることにあります。久留米大学の学生はほとんどが卒業後に久留米を離れますが、在学中に久留米に深く関わって地域活性化のために貢献できればいい思い出を残すことができます。だから絶対にこのような状況でも開催したいと思いました。そこで若い世代に人気のあるSNSを活用して久留米の良さをアピールすることを決めました。そこで発足したのがオンライン配信班です。このオンライン配信班は3年生を主体としてYouTubeにチャンネルを作って、企画や編集なども自分たちで行うという初めての取り組みで戸惑うことが多かったです。しかし先生方や経験者の方の体験談などを聞いて無事に絣フェスタ史上初めての無観客での開催になりましたが、オンライン配信という新しい形で絣フェスタが継続できたことを大変うれしく思っています。

今回の絣フェスタを実施するにあたり大変多くの人たちに支えられました。感染防止のために万全の態勢を整えてくださった看護学科の皆様、裏方として働いてくれた実行委員のみんな、そして久留米絣ファッションショーを成功させるために練習を重ねたモデル学生のみんな、多くの力を結集することで成功を収めることができました。ご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。また今年、来年、さらにその先へと絣フェスタが続いていくことを願っています。

法学部絣フェスタ学生実行委員会
実行委員長 野田 龍馬





＊令和2年度＊

職業と社会

第1回

左から：具島 秀和 (平成23年卒) 法務教官
吉田 大河 (平成31年卒) 扶桑薬品工業(株)
宮本 紋華 (平成29年卒) ㈱ホープ

法学部同窓会では、現役学生への支援として、後期授業「職業と社会」に同窓生を講師として派遣しています。この授業では現役で活躍している卒業生に講師として来ていただき、就職活動のエピソードや、現在の仕事で心がけていることなど、実体験を学生に話していただくものです。



第2回

左から：峯苜 義子 (令和2年卒) 九州大学法科大学院
井上 舞香 (令和2年卒) うきは市役所



第4回

左から：浦野 雄也 (平成26年卒) 恩賜財団済生会二日市病院
前田 啓至 (平成14年卒) 司法書士



第5回

左から：星野 天 (平成20年卒) 弁護士
柴田 大空 (平成20年卒) ㈱Infindex



第3回

左から：北原 奨 (令和2年卒) 久留米信愛高等学校
松永 絹子 (令和2年卒) イオン九州(株)



第7回 左から：林田 侑也 (平成26年卒) 福岡県立早良高等学校
越地 竜太郎 (令和2年卒) ホンダカーズ(株)中央佐賀
スポーツガーデン(株)代表取締役社長 高橋 米彦 ※

第11回 左から：野口 明日香 (平成29年卒) 九州労働金庫
松本 結花 (平成30年卒) エフコープ生活協同組合
陶山 里紗 (平成29年卒) (株)三井住友銀行

新型コロナウイルスの影響もあり、オンラインでの授業が行われた回もありましたが、講師の方達からオンライン授業用に資料を準備していただき、授業を行うことができました。

様々な分野で活躍する卒業生の体験談を直に聞くことのできる貴重な機会である「職業と社会」は、学生たちにとって実りのある授業となるでしょう。

今後も多岐にわたる講師を推薦していきますので、同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。



第12回 左から：後藤 李音 (平成31年卒) 玉名市役所
橋本 康平 (平成30年卒) 佐賀県警
井上 諒亮 (平成30年卒) 門司税関



第8回 左から：園田 瞳 (平成26年卒) 恩賜財団済生会熊本病院
中野 俊秀 (平成4年卒) 刑務官
中嶋 理沙 (平成28年卒) くーみんテレビ (株)CRCCメディア



第13回 左から：原 芳尚 (平成12年卒) (学)久留米大学
佐伯 紘乃 (平成30年卒) (有)旅行庵
折戸 謙介 (平成7年卒) 行政書士



第9回 左から：吉田 博文 (平成12年卒) 検察官
松野 未奈 (平成31年卒) 久留米広域消防本部
田中 成直 (平成30年卒) 久留米広域消防本部

第3回 田中屋呉服店 代表取締役社長 田中 英次 ※

第6回 エマックス・クルメ館長 安丸 勝晃 ※
(株)西鉄エージェンシー 近藤 真由 ※

第10回 タレント 黒田 りさ ※

第14回 植松 徹也 (平成8年卒) 久留米市役所

第15回 益村 佳奈 (平成12年卒) (株)保育所原田のぞみ園
柴田 大輔 (平成19年卒) (株)銭高組

※は卒業生外

他 法学部卒業生、4年生の計42名が講師を務められました。ありがとうございました。

川口 彩夏(平成23年卒)

法学部教員紹介



古賀 幸久 先生

就任年月日 平成3年4月1日

出身地 熊本県天草市姫戸町

専門分野 国際法、イスラム
国際法、中近東地域研究

趣味・マイブーム

ゴルフ
ピアノ(我流)

自己紹介

現在、特任教授としての3年間で過ぎ去ろうとしています。あと残りわずかの大学教員生活ですが、学生諸君と楽しく一緒に語り合えればうれしく思います。

法学部卒業生にひとこと

自分の大事なものに磨きをかけ、他人からも尊重してもらうように輝いて欲しいと思います。



松田 光司 先生

就任年月日 平成16年4月1日

出身地 京都市

専門分野 数理社会学・社会
ネットワーク分析・地域貢献・
被災地復興

趣味・マイブーム

人の話を聞くこと
オンラインイベントの企画並びに運営すること

自己紹介

法学部では、情報教育や留学生の担当をしております。また、久留米大学の目的の一つである「地域に貢献できる人材の育成」に沿って、教育研究活動をし、学生と共に清掃活動、安全安心パトロール、災害ボランティアなどを実施しています。

法学部卒業生にひとこと

地域貢献活動をしていると卒業生にもお世話になることが多くあり、大変感謝しております。卒業生を通して、改めて、久留米大学法学部の良さを再認識しています。



周 蓓 先生

就任年月日 平成24年4月1日

出身地 中国・大連市(東北)

専門分野 行政法、環境法

趣味・マイブーム

料理
最近は自家製手作り餃子にはまっています。

自己紹介

学生時代は、大連、上海、東京、転々と数か所も回っていましたが、今は久留米に来て10年目を迎えるところです。繁華な都会生活も静かな田園風景も好きで、久留米に住み慣れてきた今は、研究・育児を両立しながら頑張っています。

法学部卒業生にひとこと

卒業されても日常生活の中では法律・政治の出来事に出会うことが多いでしょう。学生時代に授業で学んだことを時々思い出して、初心の気持ちを忘れずに少しずつ自分や社会を変えていきましょう。



土肥 勲嗣 先生

就任年月日 平成27年4月1日

出身地 熊本県あさぎり町

専門分野 政治学

趣味・マイブーム

硬式テニス

自己紹介

3年前に引っ越してきた久留米市はとても暮らしやすいです。すでに四十路を過ぎましたが、法学部最若手男性教員です。学生さんたちと楽しいことをやりたいなあ、といつも思案しております。

法学部卒業生にひとこと

現役の学生さんたちと交流しませんか？若い人たちは、未熟ですが、年長者にない視点や柔軟な発想があります。卒業生の皆さんと現役の学生さんが交流する機会があれば素敵だなあと思います。

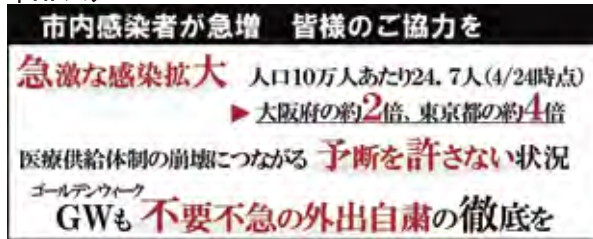
～コロナ禍の今～

昨年からコロナで困っている方の支援の仕事をしています。
保健所、医療機関、宿泊療養施設などみなさんと協力しながら戦ってきた中で感じたことをお伝えできれば。

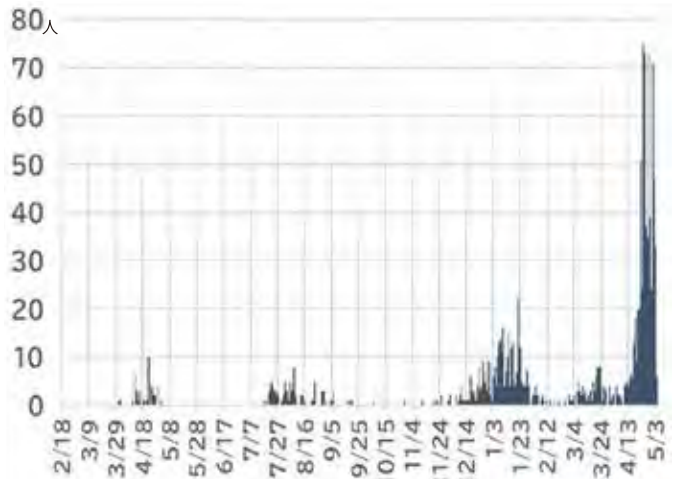
◆◆◆ 久留米のコロナの状況は ◆◆◆

現在、久留米市は第4波の真っただ中です。
感染力が強く、飲食店などだけでなく、家庭内での感染も急速に拡がりつつあります。
一日の感染者数が70人を超える日が連続（第3波までの最大は20数名）し、10万人当たりの感染者数は久留米が東京や大阪を上回りました。
市内の軽症者用の宿泊療養施設、病床も日々埋まりつつあり、福祉、医療の現場では危機感が高まっています。

市HPバナー



◆陽性者数の推移



◆◆◆ 同窓生のみなさんへお願い ◆◆◆

この会報が届く頃にはワクチン接種も始まっているかもしれませんが。
希望を抱きつつ、もうしばらく以下の5つの項目にご協力をいただければ幸いです。



- ①自分が感染者かもしれない、うつしてしまうかもしれないと思って行動を。
- ②カラオケや飲み会・食事会などは本当～に高リスク。もうしばらくの我慢を。
- ③マスク、手洗い、消毒、そしてフィジカルディスタンスにご協力を。
- ④感染してしまった人は責めるのではなく、励ましてあげる優しさを。
- ⑤みんなが経済的にも苦しいとき。コロナは災害と同じです。困ったらぜひお住まいの地区の役所等に気軽に相談を。

We will never walk alone ～一緒に乗り越えましょう～

植松 徹也(平成8年卒)



村上 舞(令和2年法律学科卒)

私が四年間充実した毎日を送ることができたのも久留米大学に入学したからであり、これからの人生、今まで私を支えてくれた家族、友人、そして久留米大学、全てに感謝しながら、この四年間で学んだことを最大限に生かし、新たなことに挑戦し続けていきたいと思えます。また今回、新型コロナウイルスの影響で卒業式等の行事がなかったことは残念でしたが、同窓会で皆が集まれたらと思います。

二つ目は、恩師との出会いです。ゼミで四年間お世話になった澤英俊先生には法律の知識を教えてくださいただただでなく、親身になって何度も相談に乗っていただき、辛い時にはいつも励まし支えていただきました。本当にお世話になりました。

私が入学当初、高校までとは異なり自主性と責任が強く求められる大学という環境で、上手くやっていたことが出来るのか不安でした。しかし、今の成長した私を造り上げてくれた二つの出会いがあります。

一つ目は、災害復興ボランティアサークル「ゆめくる」との出会いです。初めて参加したボランティア活動で「ゆめくる」の存在を知り、加入しました。「ゆめくる」での活動や、活動を通して出会った方々、顧問の松田光司先生、先輩、後輩、様々な人たちとの出会いは私にとって全てかけがえないものです。

卒業生の抱負

自然災害の脅威と闘う～熊本、そして筑後

令和2年度も自然災害の脅威にさらされた1年間であった。熊本県の球磨川流域を中心とした7月の豪雨災害は、死者65名、行方不明2名(いずれも令和2年10月現在)という大惨事になっている。熊本県といえば、平成28年4月に熊本市、益城町を震源とする最大マグニチュード7.3の大地震に見舞われ(平成28年熊本・大分地震)、その復興の矢先にこのような大水害が発生した。平成29年度同窓会会報では熊本地震の特集を組んだが、今回も熊本での災害を経験した同窓生の声を紹介するとともに、久留米市を中心とする筑後地域でも度重なる豪雨災害の状況や、久留米大学の災害に対する地域貢献についてもりレポートする。



荒れる球磨川の様子



冠水した久留米市内(北野町)

令和2年7月豪雨(球磨川大水害)の概要

熊本県人吉市および球磨郡は、同県南部を西流する球磨川流域の人吉盆地に位置する。令和2年7月3日から降り出した雨は、24時間雨量で50年確率降水量(気象庁HP)を超過し、球磨川では、既往最大水位(平成27年6月6日、4.16m)を超過した。人吉市では球磨川やその支流で氾濫が生じ、氾濫流による建物・橋梁の破壊・流失、および浸水による被害が生じた。現在もJR九州肥薩線、くま川鉄道の運休が続いており、国道も国道219号熊本県球磨村において崩土の影響から全面通行止めが続いており、生活再建に大きな影響がでている(令和2年12月末現在)。

私達を襲った豪雨災害

梅雨前線の活発化に伴い、人吉球磨地域は、7月3日から7月4日にかけて断続的な大雨に見舞われました。4日未明から人吉球磨各地で、大規模な崩土や増水による河川の氾濫が発生。広範囲にわたり家屋の浸水や倒壊、停電、断水、通信障害などライフラインが長時間にわたり機能停止となりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外からのボランティアは受け付けていませんでしたが、設置されたボランティアセンターには多くの方が並び、被災者の支えになろうと力を尽くしてくれていました。



今も被災された方は仮設住宅や改修が進まない被災宅での生活を強いられています。災害の傷痕は癒えず、喪失感や不安感が付きまとう中、これからの生活、地域再生には多大な時間と労力が必要です。

それでも、前に

圧倒的な自然の力を前に呆然としました。しかし、人吉球磨の歴史は、球磨川とともに生きてきた歴史なのです。先人たちもそうであったように、人吉球磨を立て直していくのは人吉球磨に暮らす私達です。少しずつ、少しずつ、前に。

『がんばろう!人吉球磨』この言葉を掲げて人吉球磨は復興に向けての一步を踏み出しています。今後も皆様からの応援、ご協力をお願い致します。



川口 彩夏(平成23年卒)

熊本地震の復興は着実に前進

一方、熊本地震からの復興については、着実に前進している。熊本のシンボルである熊本城は、報道等でもあるように、熊本城全体が完全に復元されるには約20年かかると言われている。熊本城の復旧計画によると、平成31年4月末には大天守2階～6階までの外観が復旧および石垣の積みなおしが完了し、令和元年10月には大天守の外観復旧が完了しているが、一部は原則として日曜祝日限定で天守閣エリアの特別公開も開始されているとのことだ。

そのほか、大きな被害を出した箇所でも復興・復旧のための作業が進められている。JR九州の豊肥本線は令和2年8月より全線復旧を果たし、国道57号線も北側迂回ルートとして二重峠ルート(自動車専用道路、約13km)が令和2年10月に開通した。阿蘇大橋も旧橋より下流側600mの位置に新大橋が、令和3年3月7日に開通し

た。大きな被害を出した東海大学の阿蘇キャンパスも一部公開され、地震の影響を目の当たりにすることで、災害への警戒呼びかけを行う施設に生まれ変わろうとしている。

とはいえ、生活再建については不透明な状況もあると聞く。加えて、コロナ禍において、転職や居住地移転を余儀なくされ、生活再建には程遠い方も少なからずいるようだ。熊本県は被災後4年をめぐりに復興を目指すとしてきたが、仮設住宅についても、当初2年の設置を4年間に延長するなど、行政としても対応を続けている。

平成29年度の同窓会会報に記載したが、我々も長い目で支援する必要がある。特にコロナ禍の現状ではなかなか難しいが、これを克服した暁には、ぜひ観光でも支援をしてほしいものだ。現在でも熊本県産の特産品はネット等でも購入できるので、こうした支援を呼び掛けたい。

筑後地域でも度重なる豪雨災害

久留米大学のある福岡県久留米市やその周辺地域でも、毎年のように豪雨災害で被害を被っている。平成29年の九州北部豪雨では朝倉市を中心に大きな被害が出ているほか、久留米市においても筑後川支流の多くの河川で氾濫がおき、毎年のように床下浸水する住居や事業所がある。

令和2年度も7月に豪雨災害が発生し、降り始めの令和2年7月6日の24時間最大雨量は360.5ミリメートルと、観測史上最大を記録した。この結果、久留米市の下弓削川、大刀洗川、陣屋川など、多くの河川で「内水氾濫」が発生し、令和2年7月13日時点で床上浸水335棟、床下浸水1620棟、道路被害191カ所、避難者数は最大約1400人など、大きな被害が発生した(久留米市広報より)。同窓生諸氏のご自宅、ご実家などでもこうした被害にあわれた方がおられるのではないだろうか。改めて、お見舞いを申し上げたい。

同窓生も力を合わせて復興へ取り組もう！

地球温暖化の影響かどうかは定かではないが、確実に毎年様々な自然災害が発生している。同窓生諸氏のお住まいの地域でもこうした被害にあわれた方がおられると思う。また、同窓生諸氏の中で、仕事を通じて、こうした災害に立ち向かっている方もおられるだろう。ぜひ、こうした声を同窓会で語り合うことができないだろうか。新たな発見も生まれるかもしれない。久留米大学としても地域連携センターがこうした有機的連携をサポートしている。同窓生が力を合わせて、微力ではあるが災害復興の力となることを祈念したい。



増水する筑後川(久留米市宮ノ陣)

対策の手は？本学の地域貢献で！

福岡県や久留米市でも度重なる豪雨災害に黙っているわけではない。ポンプ場の再整備など行政としても様々な策を講じている。その1つとして、本年度法学部同窓会会報のP15～16にも紹介しているが、久留米大学御井学舎グラウンドの地下を利用した豪雨時の河川流水のコントロール機能を持つ貯水プールの設置がある。本学でもこうした場所を提供することで、地域に大きな貢献を行っているといえよう。



ポンプ増設工事が進む
久留米市下弓削川枝光排水機場



久留米大学の
防災協力を伝える記事
令和2年10月20日
毎日新聞「久留米大学が
防災協力」

林田 俊彦(平成4年卒)

コロナ禍における就職支援

令和2年末に発表された昨年の漢字は「密」であった。「禍」のようなネガティブな漢字は避けられたが、全人類は間違いなく「禍」の中にある。いうまでもなく、大学生の就活はコロナで一変した。

まず、今春の卒業生の就活を振り返ると、内定率は例年に比べて一時期、数ポイント以上も落ちたが、これは全国的な傾向であった。旅行・観光・外食・インバウンド業界での就職を考えていた学生は、方向転換を余儀なくされた。就活の方法も、いきなりオンライン面接になった。公務員試験の延期というハプニングもあり、それが明暗を分けた。

次の来年春卒業予定の学生は、「売り手市場」が終わったことを覚悟して心の準備はできているはずだが、コロナ禍による国民の意識や生活様式の変化、社会的な不安に伴う消費控え、コロナ関連倒産など、明るい材料に乏しい。

ところで大学の遠隔授業のあり方が話題になったが、学生に対する就職キャリア支援の態様も様変わりした。就職・キャリア支援課の職員はパーテーションで区切って学生の話や話を聞かなくてはならないし、メールや電話による相談も増えた。教員のゼミ生に対する支援も、対面方式からオンラインを積極的に取り入れる方法へと変革を余儀なくされた。

だが、マイナスばかりではない。なによりも、従来だと、後期試験も終わった2・3月は「春休み」で、教員と学生が接することはほとんどなかった。ところが現在は新たなやり方が可能だ。授業期間中に限らず、いつでもどこでもオンラインで学生につながるし、アドバイスをすることができる。就活にとって大事な時期に、私もメルマガ風メッセージを送信している。その意味で大学も「密」度を上げることができる。「密」を避けよと言われるが、社会的動物である人間は本来「密」を求めて産業を作りだし、社会を形成してきたのだ。早くコロナ禍が収束することを望む。



就職委員長
小原 清信



今春令和3年3月の卒業生については、就職活動の内々定時期及び内々定数で大きな二極化が生じました。その背景として、例年であれば3月1日の企業広報活動解禁日以後の大手ナビサイト主催や大学主催の合同企業説明会等の流れに乗って就職活動をスタートしていましたが、新型コロナ感染拡大により対面による採用選考を受けることが出来なくなり、コロナ感染拡大の前から既に企業等へのエントリーが出来ていた学生は緊急事態宣言期間中にも関わらずいくつかの内々定を得ていました。一方、緊急事態宣言解除後から動き始めた学生はかなり苦戦をすることになりました。その状況のなか、就職・キャリア支援課として、まずは就職活動に困っている4年生の現状の様子『生の声』を聞き、少しでも不安等を和らげることが必要であるとして、4年生に状況確認の電



話連絡をすることにしました。就活面での不安だけではなく、アルバイトが出来ないことによる収入減からの生活費の問題、その他様々な不安を抱えていることが確認できました。



そのコロナ禍において、企業等採用側の選考方法が、『対面』から『Webによるオンライン選考』に大きく変化したことから、当課としても初めての取り組みとして、『電話による履歴書・ES添削』、『オンラインによるWeb面接練習』などの新たな支援を始めることにしました。学生によっては一次選考から最終選考まですべてオンライン選考により内々定を得るなどの効果を上げることが出来ました。

今後は新型コロナによる経験から、『オンライン』と『対面』での双方の利点を活かした『ハイブリッド型』の選考方法が主流となっていくと思いますので、柔軟な支援ができるよう対応していきたいと思っております。

就職・キャリア支援課長 山本 弘幸

新時代を拓く 久留米大学 募金



令和2年4月1日より新たに創設された募金制度「新時代を拓く久留米大学募金」へ多数のご寄付をいただきまして厚く御礼申し上げます。この制度は、あらかじめ掲げられた8つの用途から、寄付者のご希望に沿った用途へのご寄付が可能となっています。

1 奨学金制度の充実



2 学術研究の推進



現在、「新時代を拓く久留米大学募金」の枠組みを活用した、新型コロナウイルス感染症対策に伴う学生の支援および大学病院・医療センター等医療現場へ多数のご寄付をいただいております。引き続き、同窓会会員の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしく願いたします。

3 国際交流の推進



4 スポーツ・文化活動の支援



5 地域貢献の推進



6 大学病院・医療センターの充実と発展



7 旭町キャンパスの教育研究施設整備



8 御井キャンパスの教育研究施設整備



寄付特典スタート

令和2年10月1日より「新時代を拓く久留米大学募金」へご寄付いただいた方々へ感謝の意を表すべく、筑後エリア等で活動する企業と提携した「寄付者特典カード」を進呈させていただいております。カードを提示することで、提携先企業の各店舗で様々な特典や割引サービスを受けられます。また、提携先としてご賛同いただける企業様を募集しております。関心のある企業様がおられましたら、基金推進室にご連絡お願いいたします。なお、寄付につきましては、クレジットカード、ペイジー、コンビニ払いでもお申込みが可能です。詳しくは下記ホームページを検索、またはお電話にてご相談ください。

■お問い合わせ先：久留米大学 総合企画部 基金推進室
TEL:0942 (31) 7530

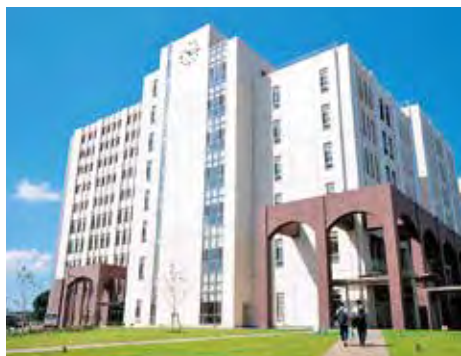
新時代 久留米大学

検索

スマートフォンからも
アクセス可能です。



法学部、大学における最近の話題



令和2年度はコロナ禍の影響により、国公私立を問わず、大学運営についても大きな影響が及んでいる。久留米大学も例外ではなく、4月の入学式の中止のほか、前期授業については、Webを利用した授業を行うなど、学生、教員ともに戸惑いと試行を繰り返しながら、新しい生活様式の定着に向け、努力したとお聞きしている。

まずはコロナ禍での本学文系キャンパスでの取り組みを紹介したい。

<感染流行初期の取り組み>

- 令和2年 1月 新型コロナウイルス感染拡大
- 3月 卒業式中止
- 4月 入学式中止

<緊急事態宣言発令の頃>

- ・学生のサークル活動の禁止
 - 新入生勧誘はSNSが主流へ 7月から自主練再開
- ・就職活動は学内個別説明会や面談指導の中止
 - 電話対応・Web面接対応が主流へ
- ・前期授業はWeb授業へ
 - 6月からようやく対面授業も一部再開
- ・単独入試説明会は中止
 - Zoomなどを利用した個別相談会開催
- ・修学支援として学部生に一律2万円分のクオカードを配布
- ・フードバンク久留米による学生向け食材の無料配布(学内ボランティアの活動含む)
- ・学生に100円夕食弁当の支援



<大学の持続的な運営を目指して>

- ・留学生は出入国の制限で個別対応
 - Web授業あるいは入学の延期も
- ・オープンキャンパスはオンラインイベント開催
 - 令和2年9月に対面のキャンパス見学会を開催
- ・令和2年度後期授業は対面授業とWeb授業の併用レポート等を重視した評価へ

こうした中ではあるが、着実な本学の発展の基礎も築かれている。この頁では、そうした一部を紹介したい。

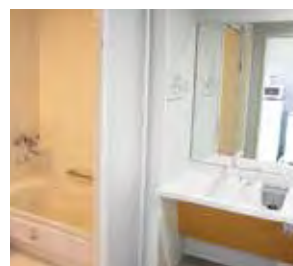
(1) 女子寮開設

令和2年11月12日に本学待望の文系キャンパス女子寮が落成し、式典が開催された。女子寮は御井学舎学生寮の旧棟2棟のうち1棟を全面改装し、寮名を「千歳」と名づけ、令和3年4月よりオープンしている。



部屋は全個室形式で、生活に必要な家具、家電はすべて備え付け、各個室からインターネットの接続も可能となっている。オートロック、防犯カメラを完備し、安心して安全な学生生活を送れるように配慮している。また、食事月曜～土曜日まで、朝夕の提供があり、管理栄養士が考えたバランスのよい食事を提供するなど、学生(寮生)とそのご家族も安心していただけるようになっている。

なお、今後、同窓会広報部でも女子寮の取材を行い、今後の会報で特集を組む予定である。また、(男子)学生寮の取材については平成29年度の同窓会会報でも行っている。ぜひ、法学部同窓会ホームページでご確認いただきたい。



(2) 人工芝グラウンド整備

本学の長年の課題であったグラウンド整備の目処ができた。今回PI11~12でも取り上げたこの数年の自然災害、特に豪雨被害の軽減を目的として、久留米市は、本学の御井キャンパスのグラウンドに、大雨時に支流の水を一時的に貯留し、増水を抑制する計画を立案、その過程でグラウンドにプール状の貯水槽を建設する予定で、その上に人工芝のグラウンドを再整備する計画とのことである。令和2年度は工事計画など詳細設計中であるが、令和4年度までには御井学舎に人工芝グラウンドが整備される計画である。

これにより、本学学生、学友会の球技系クラブや陸上競技部やその指導者など、多くの関係者が待ち望んでいた人工芝グラウンドの実現に向け、一步を踏み出している。今後、続報を期待したい。



現在のグラウンド

(3) 建学の精神の制定

法学部同窓生はなじみのない言葉かもしれないが、「国手の矜持は常に仁なり」というフレーズを聞かれたことはないだろうか？ 実は、令和元年11月に制定された久留米大学の建学の精神を明文化したものである。

昭和5年に制定された北原白秋作詞の九州医学専門学校（本学の前身）の校歌には「国手（こくしゅ）の矜持（ほこり）は常に仁（じん）なり」と謳われている。「国手」は本来、名医の意味で使われるが、「国中ですぐれた名人」（『大漢和辞典』）の意味があり、全学的に通じる言葉である。「矜持」は自信と誇りを持ち、自身を抑制しながら堂々と振る舞うことで、「仁」は「礼にもとづく自己抑制と他者への思いやり」（『広辞苑』第五版）を意味している（本学ホームページより）。

本学は、この一節を、それぞれの分野において優れた実践的人材（国手）の育成に努めることを建学の精神として定めたのである。我々同窓生もこの精神を胸に刻み、弛みない歩みを進めたいものである。



御井本館に飾られている「建学の精神」の書

(4) 地域貢献活動

本学では地域連携センターが中心となり、周辺市町村、企業、団体と地域連携協定を締結し、地域おこし活動や、地域医療活性化、地域の名産品発掘など、様々な活動を行っている。同窓生諸氏がお住まいの地域でも、こうした活動を見聞きされたことがあるのではないだろうか？ 現在、福岡県、佐賀県を中心に、市町村、団体とこうした協定を締結している。また、前述のように企業とも地域活動や、教育、研究分野で活性化を目指すべく、連携協定を締結している（例、西日本新聞社、RKB毎日放送など）。本稿で取り上げた、人工芝グラウンド整備についても、豪雨災害の被害軽減を企図した久留米市との連携で実現したものである。

同窓生諸氏の中で、企業活動や地域活動において、こうした本学とのコラボレーションができるものがないだろうか？ もし、何か取り組みができるものがあれば、本学の地域連携センターに一報を入れていただきたい。お問い合わせはこちらへ。

★久留米大学御井学舎事務部地域連携センター

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635

TEL/FAX 0942 (43) 4413

<https://www.kurume-u.ac.jp/site/chiren/katsudou.html>

(5) 大学に対する外部評価

令和2年9月2日に発表された「THE世界大学ランキング2021」において、久留米大学は世界の「801-1000位」のグループにランクイン、九州では昨年に続き3位となった。国内の私立大学では8位（同位）、国立大学も含めた順位では21位（同位）となっている。

「THE世界大学ランキング」とは、イギリスの高等教育専門誌「THE (Times Higher Education)」が公表している世界の大学ランキングであり、「教育」、「研究」、「被引用論文」、「国際性」、「産業界からの収入」の5分野について、各大学のスコアを算出して、ランク付けしている。これらの原動力は、医学部、大学院医学研究科を中心とした医系の教育、研究が中心となっていることはいままでもないが、さらに法学部をはじめとして、文系の先生方や大学院比較文化研究科などにおいても、研究活動の活性化につながる高評価である。本学では、「すこやかな『次代』と『人』を創る研究拠点大学」を目指しており、今後も教育・研究のさらなる質の向上に取り組むとのことである。我々同窓生も、本学の卒業生としての誇りを胸に刻みつつ、母校の発展を支援したい。

(6) 本学オリジナルグッズショップ「UNIV.STORE」 リニューアルオープン

同窓生諸氏が在校中に、御井学館2階にあった「久大エンタープライズ」の売店に寄られたことはないだろうか？ 本学の関連グッズを取り扱う売店が令和2年11月にリニューアルした。今回のリニューアルのコンセプトは「人が集まるお店」だそうで、つい寄りたくなる、自慢したくなるという思いを込めて店づくりをしたそうだ。オリジナルグッズのほか、スポーツ用品も多数取り扱っているとのこと、学生以外でも同窓生をはじめ地元の人にもぜひ利用してもらいたい。また、コラボ商品の開発相談もありとのこと、同窓生諸氏の中で気になる方は下記へ要相談！今後の展開に期待大だ。



御井学館2階に新装開店した「UNIV.STORE」

★株式会社 久大エンタープライズ

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67

TEL 0942 (65) 3743 FAX 0942 (48) 0556

林田 俊彦（平成4年卒）

法律時事情報

ご存知のとおりコロナが猛威を奮い始めて1年近くが経過しました。生活様式や、多くの方にとっての事業内容について、そのあり方を根底から見直す必要に迫られています。

そんな中で、行政からコロナ関連の補助金等が数多く出ています。私たち行政書士は、そうした補助金に対しての申請の代理を業務としています。

既に多くの補助金についての申請時期は終わっていますが、最も話題になったのは持続化給付金ではないでしょうか。この持続化給付金は、事業者において、前年度の毎月の売上げが、今年の売上げにおいて半分になった月が1回でもあれば、それだけで貰えるという、非常に要件の敷居が低いものになっています。それにもかかわらず、金額は個人事業主で最大100万円、法人で200万円と、それなりの金額をもらうことが出来ます。申請は電子メールのみですので、高齢者には多少ハードルは高いかもしれませんが、添付書類なども非常に簡単なものだけで、ある意味お手軽に貰うことが出来ました。通常のこれまでの補助金等と比べると、その要件や手間隙が嘘みたいに簡単です。

ただ、その反面、その簡単さを利用した事件が数多く起こりました。多くの方は報道等で見られたと思いますが、虚偽申請で逮捕される者が続出しました。また、事業者であることや収入を立証するため、遡って確定申告を行い申請する方が多くいましたが、税務署が調査に入ったりしているようです。こうした状況の裏には、私たち行政書士をはじめとした士業ではない、違法な闇業者の存在があるようです。私も現に多くの方から、そうした業者に依頼し、高額報酬を請求されたという話を耳にしました。



コロナ禍における補助金等について



持続化給付金と並んで有名な補助金に、家賃支援給付金があるかと思います。こちらは、事業者に対して家賃相当金の3分の2を補助するというもので、要件は持続化給付金とほとんど一緒です。とはいえこちらはほとんど闇業者による申請や、虚偽申請についての話は聞きません。持続化給付金に比べると、権利関係についてその立証が、多少厳密なようで、また、ある程度法律知識がないと難しい面があるようです。

そうした闇の業者を排除するためにも、私たち行政書士や士業において、法令順守のもと、きちんとした知識を持った者が、適正な価格の報酬において申請を代理する必要があるのを感じます。

私たち行政書士は、社会貢献のため、定期的に無料での相談会を開催しています。私の所属する福岡県行政書士会西福岡支部が主催となり、福岡市早良区の西新中西商店街で無料相談会を開催し、多くの相談者が訪れました。皆様の住まれている地域においても、同様の相談会は開催されていると思いますので、こうした補助金等の申請で困られた際は、新聞や市政だより等の行政の広報誌を探してみてください。

最後に、私の事務所でも、持続化給付金や家賃支援給付金をはじめ、多くのコロナ関連の申請をして報酬を得ることにより、事務所を維持することが出来ました。従来からの業務内容の仕事は減り、事業内容そのものが従来から様変わりしたのを感じました。行政書士や他の士業においても、そのあり方や仕事内容を変化させることで生き残っていく必要があるのかもしれません。

自分のために
みんなのために



行政書士:折戸 謙介(平成7年卒)



同窓会事務局より

住所変更について

現住所の変更がありましたら、ご一報ください。
また、住所変更を依頼したのに実家に会報が届いている、改姓を依頼したのに旧姓のままになっているなど、変更が反映されていない方がいらっしゃいましたら、再度ご連絡をいただけないでしょうか。ホームページ、電話などでも受け付けています。ぜひお知らせください。

同窓会会報への投稿について

近況報告やゼミ会、または職場の取材をしてほしい、会報に広告を掲載したい等、会報への投稿をお待ちしています。その他、お問い合わせなどありましたら下記連絡先までお気軽にお知らせください。

法学部同窓会役員の募集

同窓会では、役員になって一緒に活動して下さる同窓生の方を募集しています。
興味がある方は、下記連絡先までお知らせください。

連絡先：久留米大学法学部同窓会事務局

TEL・FAX 0942 (43) 5164 / E-mail krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp



久留米大学法学部同窓会の
Facebookはこちら



<https://m.facebook.com/久留米大学法学部同窓会-362146590614392/>



久留米大学法学部同窓会
ホームページはこちら



<https://kurume-hougakubu-dousoukai.jp/>



マスク寄贈のお礼

日本ではマスクの入手が困難だった令和2年4月24日(金)に、
中国会より久留米大学にマスクが寄贈されました。
法学部卒の鄢琛(イエンチェン)さんのご協力、他64名のご支援のもと、
同窓会にもマスク2箱をいただきました。
心からお礼申し上げます。



～『母校の大学頑張れ、日本頑張れ』とのメッセージとともに～



編集後記

現状のコロナ禍の中でのマスクをつけて、ソーシャルディスタンスを意識する生活にやや慣れてきましたが、生活やお仕事の面で不自由なさっている方も多くと存じます。

そのような中でも同窓会はしっかりと活動しておりますのでご安心ください。

しばらくは社会の見通しが不透明であることは否めませんが、また皆様に集まっていたく機会を持てるようにと祈っております。

広報責任者：小原 哲哉

新型コロナウイルスの終息が予測できない、そんな中での豪雨災害での被災。全ての当たり前が、日常が、なんと尊いか教えてくれた1年でした。

新型コロナウイルスによる制限が多い中で、今回も会報を発行することができたのも皆様のご協力のおかげです。改善点やアドバイスのご意見等がございましたら、同窓会宛にどんどんお聞かせ願いたいと思います。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

広報責任者：川口 彩夏



総会・懇親会のお知らせ

「令和3年度久留米大学法学部同窓会 総会・懇親会」は、下記のとおり開催する予定です。

今後の新型コロナウイルスの感染状況により、中止になる可能性があります。

詳細につきましては、ホームページ等でお知らせいたしますので、ご協力・ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

時 期：令和3年 秋 開催予定

時 間：未 定

場 所：未 定

総会内容：令和2年度事業報告及び決算報告（会計監査報告）
について

令和3年度事業計画及び予算案について 他

発行所 **久留米大学法学部同窓会**

〒839-8502 久留米市御井町1635

TEL/FAX 0942 (43) 5164

URL <https://kurume-hougakubu-dousoukai.jp/>

E-mail krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp

発行人 折戸 謙介

発行日 令和3年5月20日

印刷所 株式会社 久大エンタープライズ